



野良猫の被害を減らすために



▷問い合わせ 環境・公園係 (223 - 3538)

町には、野良猫に関するさまざまな苦情が寄せられています。

- 野良猫が庭でふん尿をする
- 鳴き声がうるさい
- ごみ捨て場を荒らしている



しかし、野良猫は今すぐに減らすことはできません。動物の愛護及び管理に関する法律で、猫は愛護動物とされており、処分を目的として捕獲することはできません。

また、捕まえた猫を山奥などに連れて行って放すことは、動物遺棄の罪に問われることとなります。このため、不妊手術を施し、まずは今後の野良猫の増加を抑える必要があります。

TNR活動を行うボランティア

町内には、町と連携してTNR活動（野良猫を一代限りの命とし、その命を大切を守ることを目的にしている活動。具体的な活動は、下記に掲載）を行っているボランティアがいます。しかし、ボランティアへ一方的に「猫を捕まえてほしい」と依頼する、「猫を連れてきて勝手に置いて帰る」事案も起こっています。

捕まえて、連れて行ってもらったら解決ではなく、その先には、ボランティアによる、不妊手術や猫の世話が行われていることにも目を向けてください。



TNR活動ってどんな活動？

TNRとは、トラップ ニューター リターン Trap・Neuter・Returnを略した言葉で、捕獲器などで野良猫を捕獲（Trap）し、不妊・去勢手術（Neuter）を行い、元の場所にもどす（Return）ことです。

TRAP
つかまえる



NEUTER
不妊・去勢手術をして耳をカットする



RETURN
暮らしていた場所にもどす



芦屋町人権・同和教育研究協議会
▷問い合わせ 社会教育係
(☎223-3546)



性差別のない社会を目指して

女性の人権を守り、性差なく一人一人が大切にされる社会を実現するためには、これからの未来を担う子どもたちが人権に関する正しい理解と認識を持つことが重要です。男女の区別や性別に対する偏見を持たず、人権を大切にする心を育てることは、女性の人権を守り、性差別のない世界にしていくために不可欠です。

以前の学校では、上靴やランドセルの色が男女によってはっきりと分かれていました。また、出席番号が男女で分けられることが多く、ほかにもさまざまな場面で自然と男女が区別されていました。

しかし近年は、学校の仕組みの中での男女の区別はほとんどなくなってきています。また、子どもたちは桃色・水色・紫色・茶色といったカラフルなランドセルや、緑色・黄色・白色の上靴など自分の好みの色のものを身に着けています。周りの友だちが身に着けている色を冷やかしたり笑ったりすることはありません。

また、小学校では「自分らしさが大切」と考える人権に関する授業があります。その授業では、偏った考え方に気付かせるために、あえて「女らしさ」「男らしさ」を聞いてみます。すると、あまり思い浮かばない子が多くいました。これは、学習内容を考えることができているのではありません。子どもたちが、生活する環境の中で「女らしさ」や「男らしさ」という固定概念にとらわれずに、「その人らしさ」という多様性を尊重することができているからです。

このように、男女を区別しない環境で子どもたちを成長させていくことが、一人一人の人権が尊重される未来を創っていく一助となるのではないのでしょうか。ほんの少しの心がけで未来は大きく変わると思います。人権を尊重した社会にするために、私たち大人が手を取り合い温かい未来を築いていきましょう。



僕もこの記事を読んで責任のある行動をしないとイケないな

重要！ 責任のある行動を

そもそもこの問題は、本当に野良猫だけが悪いのでしょうか。猫たちは自然の摂理のなかで、その命を全うしているだけではないのでしょうか。

私たち人間が、猫がかわいいから、餌をやらないとかawaiiそうだからといった安易な理由で、さまざまな場所で無責任に野良猫へ餌やりをすることにより、集まった野良猫たちが周辺にふん尿をしたり、ごみ捨て場を荒らしたりして、被害拡大・住民トラブルの一因となっています。餌やりをしなくても、野良猫を含む自然界にいる動物たちは、自分たちで食べ物を探して生きています。

社会には、猫が好きな人だけがいるのではなく、猫が嫌いな人、被害に困っている人、命に関わるアレルギー症状のある人などもあります。あなたがまいた餌に集まった野良猫で困っている人がいることを考えてみてください。

また、餌やりをする場合は、事前に環境・公園係まで相談し、不妊手術を施し、場所や時間を決めた餌やり、周辺のふんなどの清掃まで行ってください。責任のある行動をお願いします。

プ
チ
情
報

不妊・去勢手術をした猫は耳を桜の花びらのような形にカットします



メスは左耳



オスは右耳